


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

ふりがな		ようふ のぶお		
氏名		養父 信夫		
所属		一般社団法人九州のムラ		
役職		代表理事		
活動エリア		全国		
連絡先	住所	〒 811-3505	福岡県宗像市田島755-4	
	電話番号	090-4344-6432		
	メールアドレス	yofu@9mura.net		
キャッチコピー		ムラの命をマチの暮らしに、マチの力をムラの生業に（ニッポンのムラ流地域づくり）		
自己PR		<p>地域創生、地域活性のポイントは、第一に 人づくり、次に 具体的な施策、最後に出口づくりです。人づくりは、地元の「バカもの、若者、ヨソもの、から。自分たちは彼らの背中を押し、火をつけることくらいです。そのためには地域住民の誇り、歴史、文化を見つめ直し、それを“見える化””するところから。具体的な施策は、小さな成功体験を積み上げること。まずは地域の資源を再度磨き上げ、地域の遺伝子をふまえた、地域のこれからの取組みを徹底的に議論し、その上で、交流であれ、食にしろ、フィールドを見て、具体的に組み立てていきます。トライ＆エラーを繰り返し、組み上げていきます。最後は我々のネットワークも繋げ、観光、食の商品にお金を落としていただく都市部、海外の組織、個人につなげて、出口を構築していきます。九州のムラで培った約28年の経験、ネットワークを活かしてみませんか。ここ10年は、地元福岡県の宗像で、自ら地元組織も立ち上げ、観光環境地域づくりを実践しています。これからは持続可能な観光が世界スタンダードに。つまりインバウンドを視野に入れた場合には、この持続可能 というキーワードが必須となります。まずは短期診断からでも結構ですので、ふるさと財団さんと一緒に皆さんの地域にお伺いさせていただきます。</p>		
関連ホームページ		名称		アドレス
		九州のムラ		http://www.9mura.net
		ニッポンのムラ 公式note		https://note.com/nipponnomura

2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p><経歴> 1962年 福岡県宗像市生まれ 1986年 九州大学法学部卒業 同年 株式会社リクルート入社。人事部、情報通信部、アステル九州立ち上げなど 1997年 リクルート退社 同年 6月 九州観光研究所 設立 雑誌「九州のムラ」創刊。 2000年 株式会社マインドシェア九州に名称変更 2004年 株式会社マインドシェアに統合 九州のムラ市場 企画、Gazoo mura企画 など 2014年 一般社団法人九州のムラ 設立 現在に至る 2017年 Nipponn / mura 創刊 同発行人・編集長 2019年 一般社団法人ムラたび九州 設立（理事・副会長） 2019年 宗像線の会 代表 2022年～ 福岡ECO動物海洋専門学校 グリーンライフ学部 グリーンツーリズム学科 講師 2023年～ 福岡ECO動物海洋専門学校 グリーンライフ学部 グリーンアドベンチャー学科 講師 ふるさと財団地域再生マネージャー（2007年～） 総務省地域力創造マネージャー（2007年～） 内閣府 地域再生マネージャー（2009年～） 農林水産省 六次産業化ボランティアスタッフ（2009年～） 宗像国際環境会議実行委員会 初代事務職長</p> <p>受賞歴 2007年 グリーンツーリズム大賞特別賞受賞</p>
--------	---

観光	()
● 移住・定住・関係人口	(弊社が進める「ムラ暮らしインターン」など都市農村の関係人口の創出など)
● 農林水産業	(グリーンツーリズムなど農業×観光、更には中山間地域における農業の複合経営など新規就農の導入他)
起業支援	()
まちなか再生	()
● 集落再生	(特に中山間地域の集落再生について)
環境	()
その他	()

4. ふるさと財団での実績

外部専門家 (活用助成)	<ul style="list-style-type: none"> ◆2017年度 和歌山県由良町「想いがつながらる観光地域づくり推進事業～優良・結良 由づり、良いまちへ～」 ◆2019年度～20年度 愛媛県内子町「極上の田舎力で魅せる！ 目的型ツーリズム事業」 ◆2021年度～22年度 広島県府中市「持続可能な『産業(ものづくり)×文化×観光』ビジネス創出事業」 ◆2022年度 福岡県添田町「修験ツーリズム 英彦山観光地域づくり造成事業」 ◆2024年度～ 宮崎県木城町「中之又地区再生事業」 ◆2025年度～ 宮崎県西米良村「持続可能な村づくり事業」
-----------------	--

5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1) 事業名 : 「ふるさと財団地域再生マネージャー事業」R4～R6 (2) 対象地 : 広島県 府中市 (3) 事業目的: ものづくり×観光(府中市内)及び文化×観光(上下町)の振興 (4) 事業内容: ・府中以内は、マチの観光文化中核拠点である「恋しき」(元料亭)での文化体験プログラムの造成 ・地元の家具屋、デザイン会社、昆虫飼育事業者とコラボした商品「かぶと虫・クワガタ虫の桐箱標本」を商品化。ふるさと納税返礼品に。 ・法界山地区においては、農産物直売所を核とした観光地域づくりプログラムを造成 ・矢野地区では、地域の活動を見えやすい形でコンセプトワード、ツール作りなどを実施 ・上下町のまち歩きが楽しめるよう「ガチャ」を設置し、情報発信 (5) 事業による成果: ・上下町にはインバウンド誘客が定着し、年間15本程度、NHK特番では全国インバウンド伸び率第7番に。 ・桐箱標本はふるさと納税返礼品で、マニア向けにも関わらず、年間10セット以上販売 ・翌年度の「恋しき」の文化体験プログラム造成につながる。「香道体験」など ・法界山では十数年ぶりに「キノコ狩り」を地域で実施</p> <p>【取組事例②】</p> <p>(1) 事業名 : 農林水産省関わり合い創出事業(令和4、5年度) (2) 対象地 : 福岡県(八女市)、熊本県(南阿蘇村)、大分県(竹田市)、長崎県(壱岐市)、佐賀県(鹿島市)、広島県(府中市)、愛媛県(内子町)、和歌山県(由良町) (3) 事業目的: 関係人口を創出し、地域への移住定住を促進する。 (4) 事業内容: 弊社の提案は、「ムラ暮らしインターン」という取り組みで2週間のムラ暮らしプログラムを造成。地域プログラム造成及び受け入れ体制を構築するために、各地域ごとに地域パートナー(農泊協議会、NPO、地域づくり団体、地域おこし協力隊、地域の6次化実践者など)を目利きし、そこを企画運営を行った。またなるべく、プログラム終了後に、移住定住者を受け入れる仕事を担っているところを優先し、2週間のプログラムの中に組み込んだり、宿泊は農泊受け入れが可能なところは、極力農泊先に受け入れをもらい、より地域との交流を促進するよう心がけた。また、仕事体験のみならず、地域の祭りや文化体験も組み入れ、より田舎暮らしをイメージすることを務めた。募集については、弊社のネットワークに加え、田舎暮らし、農業、林業、漁業など地域のプログラム内容に応じて、ネット広告も最適なサイトに向けて展開した。 (5) 事業による成果: 最終的には、応募者324名、参加者87名がムラ暮らしインターンに参加。うち8名が(令和6年8月末時点)実際に、関わった地域に移住定住することにつながった。</p> <p>【取組事例③】</p> <p>(1) 事業名 : 農林水産省中山間地域農業複合経営実践者支援事業(うち魅力物語～やまふところ～冊子制作業務) 令和5、6年度 (2) 対象地 : 取材対象は全国 令和5年度35県35自治体の中山間地域実践者、令和6年度は同24県24自治体の中山間地域実践者 (3) 事業目的: 高齢化、離農が進む中山間地域の農業を活性化するために、実際に中山間地に移住定住し、農業の複合経営を実践する方々の取り組みを1冊の本にまとめ、都市部から新規就農をうながす啓蒙的なツールを制作。 (4) 事業内容: 農林水産省が規定する農業の複合経営モデル18モデルを参考に、全国で中山間地期で農業の複合経営を実践するUIターン者を中心に、取材し、これらの取組内容を一冊の本にまとめる。そのためには、 ・取材先候補の選定～ネット、冊子、大学研究室などネット、文献、人脈などを活用し、かつ中山間地域に該当するか否かも調査した上でリストアップ ・リストアップされた取材候補の取材交渉、取材。 ・取材内容は就農したきっかけ、就農年月、農地の取得、農業の内容、技術の習得、補助金の活用など中心にヒアリング ・魅力ある冊子をつくるために、デザイン、写真、ライティングなど (5) 事業による成果 : https://www.notosoken.jp/rural/ 中山間地域農業の複合経営魅力物語2024～やまふところ～の発刊</p> <p>【取組事例④】</p> <p>(1) 事業名 : 北陸農政局農泊プロモーション事業(令和5、6年度) (2) 対象地 : 新潟県 山古志村、新潟市秋葉区、柏崎市高柳町、上越市雪郷、富山県 南砺市城端、朝日町、石川県七尾市大香、白山市白峰、福井県越前市、若狭町三方 10農泊地域 (3) 事業目的: インバウンド向けのプロモーション、ファムトリップ実施による旅行商品の造成、コンサルティング など (4) 事業内容: ①管内農泊事業者62箇所に対してインバウンド誘客に積極的に取組む事業者を10箇所選定、コンサルティング ②インバウンド誘客を促進するためにファムトリップ～旅行会社4社(インサイトジャパンアース、ウォークジャパン、ホルトガル会社、コクローベル) ③中国人インフルエンサーによるSNS発信 ④動画制作 ⑤情報発信ツール「北陸のムラ」日本語・英訳の制作 ⑥オンライン報告会の実施 (5) 事業による成果: ①10地域ごとに個別フォローの実施 ②上記10エリアにファムトリップの実施、来年度以降商品化も一部実施 ③中国版TicTok 配信 ④北陸のムラ 発刊</p> <p>※上記以外の取組内容・実績 関東農政局 農泊プロモーション事業(令和6年度) ニッポンのムラ公式note での発信、ソトコトオンラインでの告知 日本財団 海の民話プロジェクト 宗像三女神と沖ノ島 アニメ制作 など</p>
---------	---